

パナマ内政・外交（2019年12月定期報告）

【ポイント】

○10日、フェレル外務大臣は、パナマを訪問したバルガス・ドミニカ（共）外務大臣と会談し、域内及び二国間における政治、移民、貿易、投資、経済、インフラ及び観光分野でのアジェンダについて協議した。

○19日、11月25日より開会した臨時国会は、最高裁新判事3名及び新検事総長の人事案を含む16の人事案・法案の承認を経て閉会した。

【本文】

●内政

1 大統領府次官の交替

（1）2日、当国大統領府は、メトロ3号線事業及びトクメン国際空港第二旅客ターミナル事業が直面する課題の重要性から、両事業を所管するメトロ公社及びトクメン空港公社の理事会の理事を務めるドゥクレ大統領府次官に対し、両事業の透明・効率性の履行に今後注力してもらうことを決定した旨プレスリリースを発出した。

（2）後任には、中米・カリブ海競技大会事業の調整に当たると共に、これまで公共インフラ調整局長を務めていたファン・カルロス・ムニョス氏が新たに任命された。

（3）コルティソ政権発足後の内閣内での人事異動は、8月の経済次官の変更（当時のサイエ経済次官を金融分析局局长、メドラノ・エコノミストを新たに経済次官に任命）に次ぐ2回目となった。

2 最高裁新判事の承認

（1）4日、臨時国会の総会にて、最高裁判事3名及び代行判事6名の人事案が賛成多数で可決された。2020年1月1日付で就任予定。新判事3名は以下のとおり。

（第二法廷）

・旧 ハリー・ディアス（任期：2019年12月）

新 マリベル・コルネホ

・旧 ヘロニモ・メヒア（任期：2017年12月）

新 マリア・エウヘニア・ロペス

（第三法廷）

・旧 アベル・サモラノ（任期：2019年12月）

新 カルロス・バスケス

(2) 今次人事は、コルネホ新判事がマネーロンダリング等金融犯罪の専門家であることや、代理判事の多くが地方裁判区から選出されていること、新判事の3名中2名が女性であることなどから、コルティソ政権の汚職対策、グレーリストからの脱却、地方の意見尊重及びジェンダーバランス確保の姿勢が明確に反映されたものであるとメディアを中心に評価されている。

3 検事総長の承認

(1) 17日、臨時国会総会にて、満場一致で検事総長、賛成多数で代行検事総長及び代行行政検事総長の人事案が可決された。2020年1月1日付で就任予定。詳細は以下のとおり。

- ・検事総長：エドゥアルド・ウジョア
- ・代行検事総長：ハビエル・カラバージョ
- ・代行行政検事総長：モニカ・カスティージョ

(2) ウジョア次期検事総長は、検察庁に28年在籍した経歴を持ち、専門は金融関連犯罪。承認に際し、ウジョア次期検事総長は、検察庁に制度、威厳及び社会の信用を取り戻したい旨述べた。

4 臨時国会の閉会

19日、11月25日より開会した臨時国会は、閣議から提出された16の人事案・法案の審議及び承認を経て閉会した。臨時国会では、最高裁判事3名及び検事総長の人事案に係る審議が特に注目されていたが、終始大きな混乱を生むこともなく承認に至った(※上記2及び3)。

●外交

1 バルガス・ドミニカ(共)外務大臣のパナマ訪問

(1) 10日、フェレル外務大臣は、パナマを訪問したバルガス・ドミニカ(共)外務大臣と会談し、域内及び二国間における政治、移民、貿易、投資、経済、インフラ及び観光分野でのアジェンダについて協議した。

(2) フェレル外務大臣は、輸出促進機構(PROPANAMA)を通じてパナマ産品の輸出を促進する新たな貿易の可能性や、ドミニカ(共)からパナマへの投資誘致につき協議した。現在、ドミニカ(共)からパナマへの投資は、金融及びコロン・フリーゾーンに集中している。

(3) バルガス外務大臣はフェレル外務大臣に対し、二国間での部分的貿易協定の対象品目の拡大に向けた交渉継続と共に、二国間貿易の促進への関心を再度表明した。

(4) 両外相は、貿易、投資及び生産チェーンに係る合意や、教育、行政、ジ

エンダー、保健、観光、零細企業、環境及び社会保障分野における二国間での協力枠組協定を始めとした二国間協力の強化に向けた戦略につき取り上げた。

(5) また、両外相は、域内のテーマに加え、様々な国際機関における両国からの立候補の状況につき協議した。

(6) パナマとドミニカ（共）は80年以上の外交関係を有し、科学、技術、文化、観光及び安全保障分野での協力協定を締結している。

2 第13回中国・ラ米フォーラムのパナマ開催

(1) 11日、第13回中国・ラ米フォーラムの開催に際し、フェレル外務大臣は、中国とラ米地域間での関係深化を目的とした、パナマ、中国及び域内他国の企業代表者が参加する会合を開催した。

(2) また、フェレル外務大臣は劉奇葆中国人民政治協商会議副議長と会談し、パナマ運河の利用国第3位且つコロン・フリーゾーンの主要利用国である中国との二国間関係を最高レベルに維持することに関心を表明した。

(3) 今次フォーラムは、一帯一路構想に基づく国際協力の深化に加え、中国とラ米地域の共通の発展及び繁栄の促進に焦点が当てられ、参加企業間で、両地域間での投資及び貿易分野における様々な機会を追求するための会合が実施された。

(了)